

南の風と波 (1961)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 90分

初公開日 1961/02/14

【解説】

四国の漁村で実際に起きた漁船遭難事件をもとに、橋本忍が脚本・監督を担当したドラマ。中島文博が共同で脚本を執筆している。橋本にとっては「私は貝になりたい」に続く監督第二作。

小さな漁村に機帆船の太平丸が帰港する。村は太平丸による物流と、その日暮らしの漁で生計を立てていた。太平丸の船長である栄吉は、妻の富子と三人の子供に囲まれ、幸せな日々を送っていた。乗組員の順平は恋人の加代と夜の海岸で会い、次の航海から戻ったら結婚することを誓った。古鉄を満載した太平丸が大阪に向けて出港するが、降り続く雨と突風で遭難してしまう。生存者は見つからず、村の公民館で合同葬儀が行われた。順平の子を宿した加代に、彼の祖父は「子供を産んでくれ」と頼むのだったが…。

【クレジット】

監督 橋本忍 Shinobu Hashimoto

製作 田中友幸
三輪礼二

脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto
中島文博

撮影 中井朝一

美術 村木与四郎

音楽 池野成

出演 新珠三千代
星由里子
夏木陽介
西村晃
賀原夏子
藤原釜足
飯田蝶子
板屋幸江